

特殊詐欺の発生状況（平成29年9月末） ～コンビニ決済を悪用した詐欺の発生～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（9月末現在）

- 被害認知件数は**81件**（前年同期比+10件）
- 被害総額は**約1億6,306万円**（前年同期比+6,108万円）
- 被害者の**約53%**が65歳以上の高齢者

2 9月中の認知状況

- 被害認知件数は**8件**（前年同月比+4件）
- 被害額は**約368万円**（前年同月比-471万円）
- 手口は、
 - ◎ 振り込め詐欺 8件
 - ・ オレオレ詐欺 1件
 - ・ 架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目） 4件
 - ・ 架空請求詐欺（訴訟関係費用名目） 1件
 - ・ 架空請求詐欺（その他の名目） 1件
 - ・ 還付金等詐欺 1件

3 県内の特殊詐欺の傾向（9月中）

○ コンビニ決済を悪用した詐欺の発生

県内では、有料サイトの利用料金が未納であるなどの嘘のメールにより、お金をだまし取る架空請求詐欺の被害が連続して発生しています。

これまでに、この詐欺の犯人が、お金をだまし取る手段として多く利用していたのが、プリペイド式の電子マネーを被害者に購入させ、そのID番号を聞き出して、その利用権を不正に入手するという方法ですが、最近では、コンビニ決済（ネットショッピング等の代金支払い方法のひとつで、個別の番号をレジの店員等に伝えるだけで、支払い手続きができるサービス）を悪用した被害が連続して発生しています。

電話やメールで、有料サイトの未納料金を請求されたら、必ず詐欺を疑い、すぐに家族や警察に相談しましょう。

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	平成29年9月末現在		
	男性	女性	計
～ 19	-	-	-
20 ～ 29	1	2	3
30 ～ 39	4	6	10
40 ～ 49	4	2	6
50 ～ 59	4	8	12
60 ～ 64	5	2	7
65 ～ 69	2	6	8
70 ～ 79	4	22	26
80 ～ 89	1	8	9
90 ～	-	-	-
合計	25	56	81
内65歳以上の高齢者	7	36	43

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成29年9月末現在 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	46
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	2
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	9
電子マネー型	20
キャッシュカード受取型	4
合計	81